

レジデント勉強会 ⇒ ハンズ・オン セミナー



実技: ウェット・ラボ (毎年7月・11月)

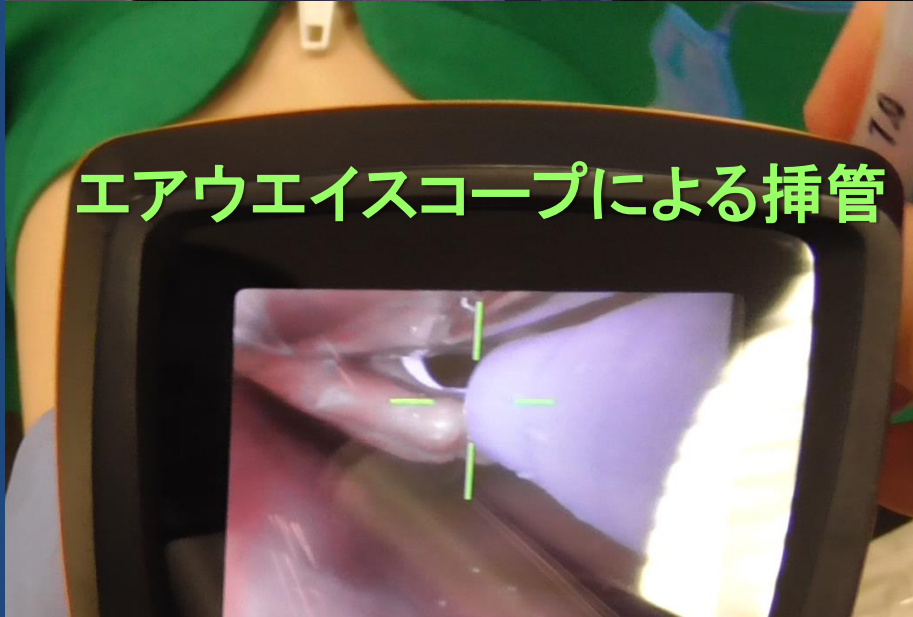
形成外科・整形外科スタッフによる 無菌豚皮を用いた縫合演習



動画

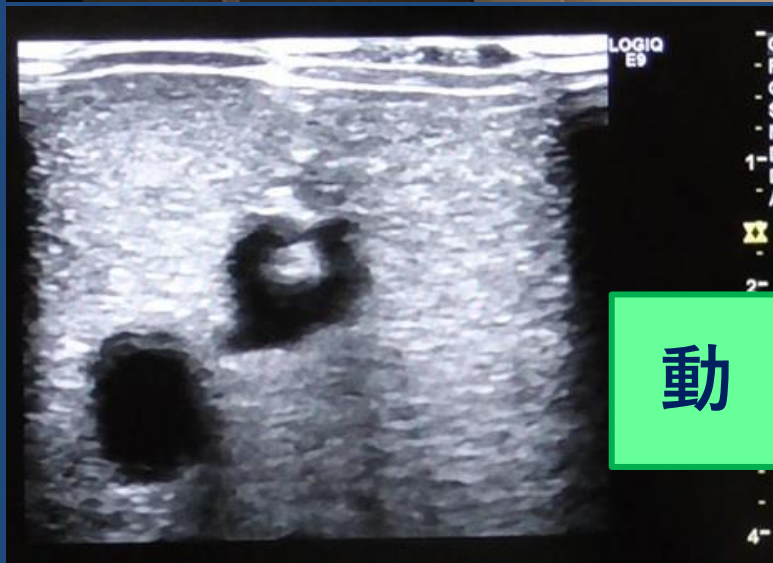
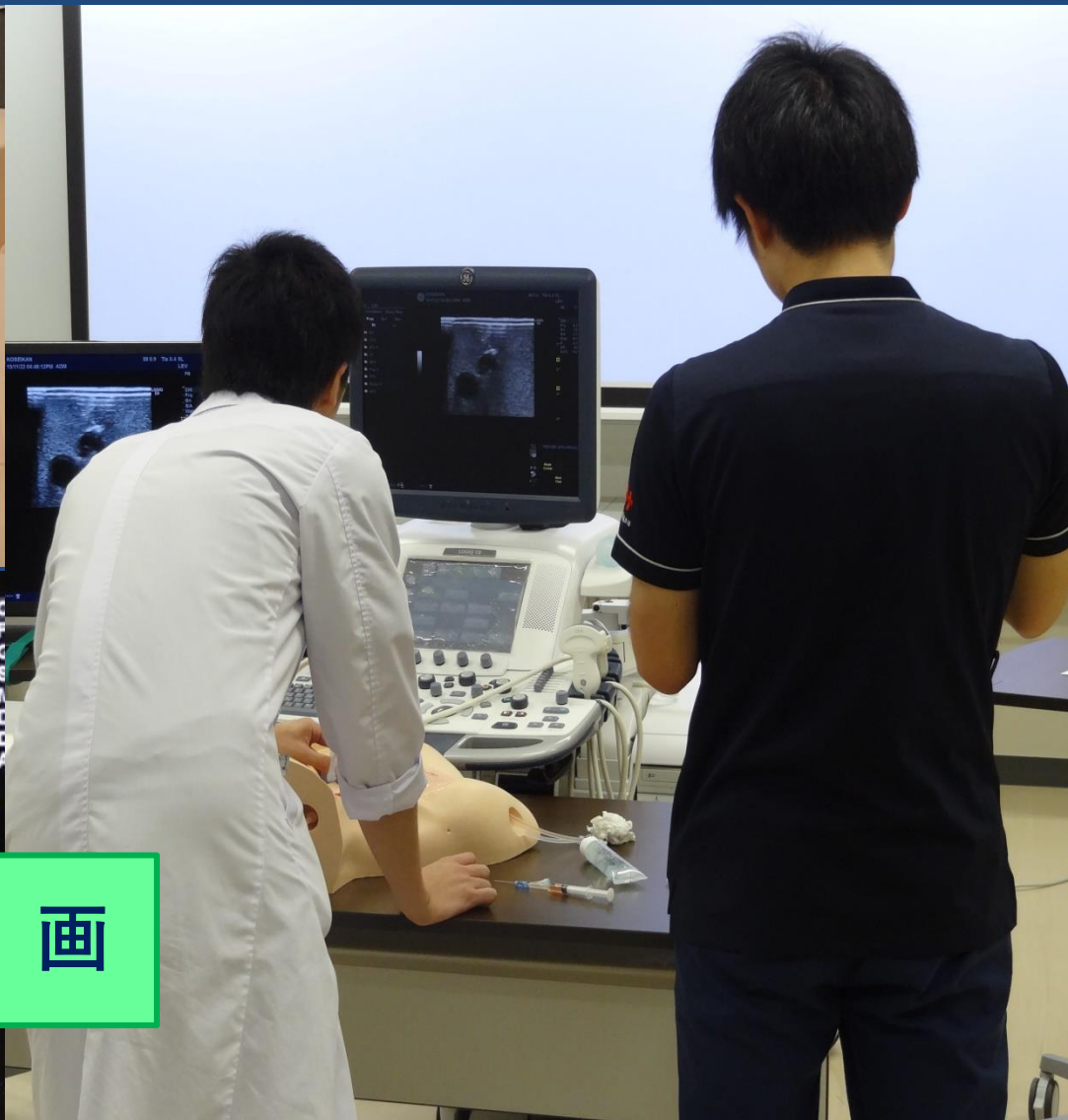
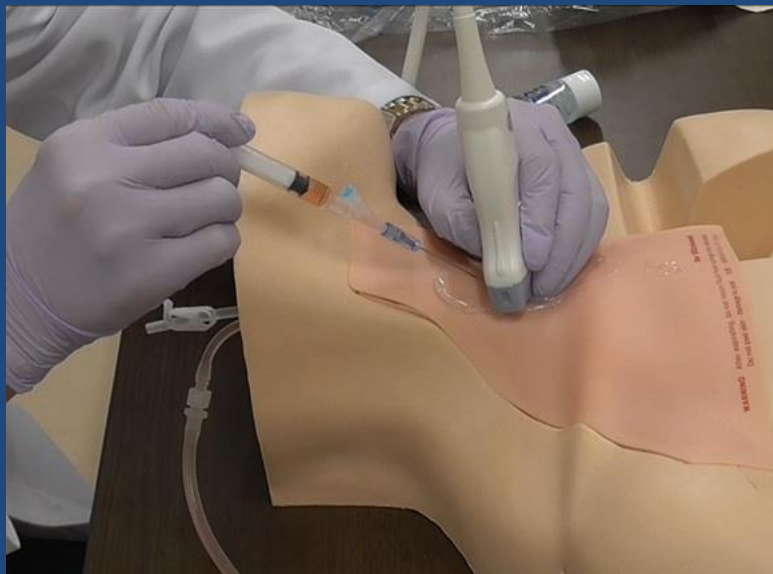
レジデント勉強会 ⇒ ハンズ・オン セミナー

DAMアルゴリズム:ビデオ喉頭鏡での気管挿管／腹ばい挿管



小グループ(2~3名) ハンズ・オン セミナー

エコーガイド下CVC(中心静脈カテ挿入)手技の実際



動 画

RUSH: Anaphylactic Shock ⇒ 輪状甲状靱帯切開

令和2年度 第23回 研修医勉強会 R.U.S.H. (2021.2.25)

⇒ 講義後に チームダイナミクスによる シミュレーション実習



■ 指導医が ERでの地雷症例(実例)をまとめて提示
■ 研修医は 総合当直で苦慮した症例 を中心に発表

2023年度(令和5年度) 研修医勉強会 予定表 (担当MR、研修医発表者、講義内容、好生館医学会割当)

開催回数	開催日 (R5年度)	開催場所	担当製薬会社 (製薬紹介+弁当)	紹介製品名	研修医発表者 名:前10分	研修医発表者 名:前10分	講演者:館内指導医 (19:10~; 50分)	好生館 医学会 発表
1	4月13日(木)	研修棟3階 9E11-9教室			小林	伝達事項 (学会出張手帳)	①藤田: E.R Snap ②	
2	4月20日(木)	研修棟3階 9E11-9教室				(臨時勉強会)		
3	4月27日(木)	研修棟3階 9E11-9教室			八木	池田		
4	5月11日(木)	研修棟3階 9E11-9教室			山崎	島内		
5	5月25日(木)	研修棟3階 9E11-9教室			山本	冷汗症例 /地雷症例 I		
6	6月8日(木)	研修棟3階 9E11-9教室 ⇒エコー室			吉良	太田	救急診療エコーの操作のコツ ⇒ハンズオン (松本技師+α)	
7	6月22日(木)	研修棟3階 9E11-9教室			山本	中尾	ERの不正な診断・治療の最前線 ⇒ 中尾 医師(循環器内科)	
8	6月29日(木)	研修棟3階 9E11-9教室 ⇒エコー室			竹下	⇒エコー室に移動 (男女別に実習)	救急診療エコーの基礎と操作のコツ ⇒ハンズオンセミナー(山本技師+α)	【7月20日】
9	7月13日(木)	研修棟3階 9E11-9教室			小林	冷汗症例 /地雷症例 II (伝達⇒面談)	薬剤師からみたERでの注射・処方の要点 ~ 疾患別・病態別のお薬処方 ~ ⇒ 佐野 & 小池薬剤師(薬剤師)	吉良 先生
10	7月27日(木)	研修棟3階 9E11-9教室			八木	池田	ウェットラボ II 無菌操作/人工夜間を用いた 夜間・夜間練習 ⇒ コンペティション形式 I by 原田啓亮、星本匠亮	限定26名 ウェットラボ
11	8月24日(木)	研修棟3階 9E11-9教室			山崎	冷汗症例 /地雷症例 III	研修医時代を知っておくべき呼吸器疾患 ~ 新型コロナウイルスも含めて ~ ⇒ 梅口 医師(呼吸器内科)	
12	9月14日(木)	研修棟3階 9E11-9教室			島内	山本	① 感染症診療に必要な微生物の基礎知識 ⇒ 福岡 御長(感染症御側)	【9月21日】
13	9月28日(木)	研修棟3階 9E11-9教室			吉良	太田	② 感染症の同定と理論的抗菌薬の選択 ⇒ 福岡 御長(感染症御側)	山本 先生

ミニセミナーを含めると、シミュレーション方式のレクチャーは計18回!

病院棟1階

北

救急外来

ドクターカー
ワークステーション

病院棟

正面玄関ホール(西口)



ここから研修棟へ行けますが、ICカードがないとドアが開きませんので、教育センターへお電話ください。迎えに来ます。
⇒ Tel. 0952-28-1206

⑪ 眼科

⑫ 耳鼻咽喉科
形成外科

コンビニ
(ローソン)



職員
休憩室

⑬ 血液内科
呼吸器内科
消化器内科

⑮ 泌尿器科
歯科・口腔外科

⑭ 整形外科
脊椎外科
呼吸器外科
緩和ケア科
感染症内科

⑱ 救急外来
総合内科(平日日中)

⑰ 内視鏡

⑯ 放射線部

【働く環境】臨床研修医をソフト面・ハード面でサポート

研修棟の2階には医局、4階～5階には研修医宿舎！

- ・ 研修医だけの医局なので、愚痴を言い合ったり楽しく話したりできた。素晴らしい同僚達に出会えたのは好生館を選んで良かった点の一つ。
- ・ きついときに弱音を吐きあえて心強かったです。このご縁に感謝です。
- ・ 人付き合いが得意ではないのですが、気にかけてもらい助かりました。特に2年目の先生と気さくに話すことができ、大変ためになりました。
- ・ 一緒に研鑽を積める同期が多く、先輩後輩についても大変恵まれた。
- ・ 医局2で業務のことはもちろん、たわいない会話ができ、心の支えとなっていた。皆、勉強熱心で思いやりもあり、学ぶところが多かった。
- ・ 研修医1人1人に電子カルテがあるため医局に集まりやすい環境にあるので、どんなにきつい時もため込まず精神的な安定は得られたと思う。

臨床研修医専用医局 (39名+α)



研修棟 2階

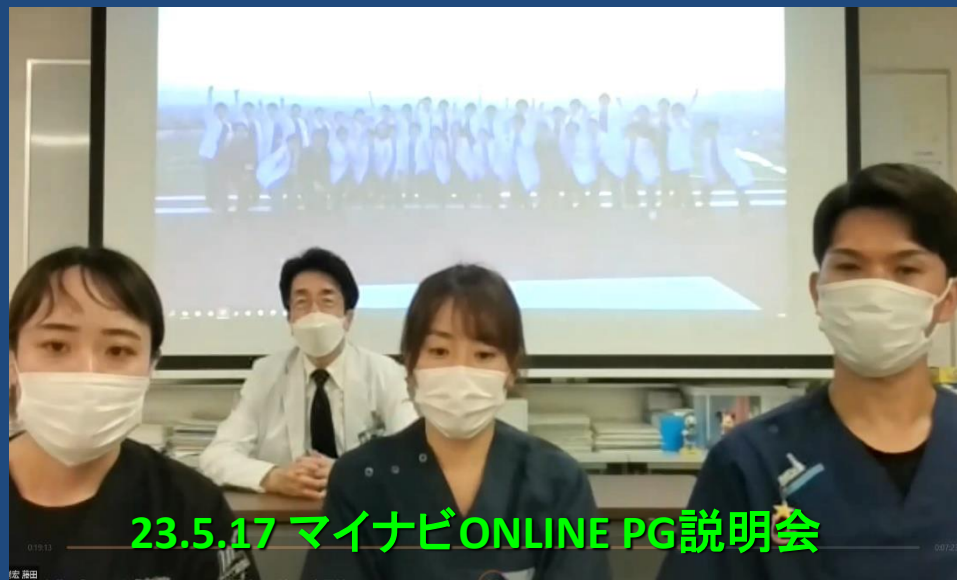
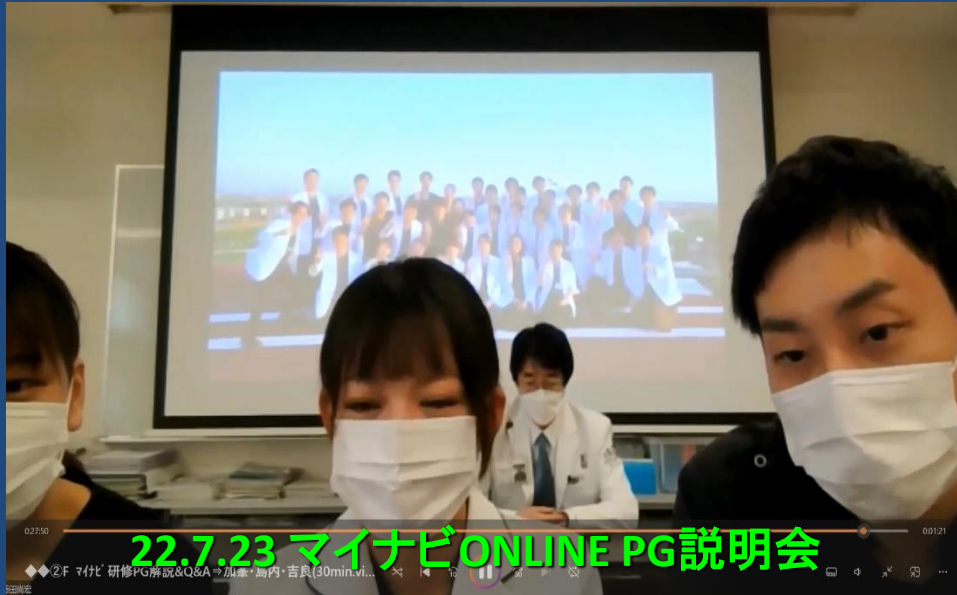


研修棟には研修医
のみの医局あり！



医局2（臨床研修医だけの医局）には、研修医
1人1人に電子カルテのPC端末が提供されます。

現役研修医によるレジナビ等での研修内容説明



研修医向けの懇親会・臨床研修修了証授与式



19.3.8 卒業記念食事会(季楽にて)



20.3.17 卒業記念食事会(シミュレータ室)



22.3.15 基幹型研修医 修了証授与式



23.3.16 基幹型研修医 修了証授与式

好生館での処遇・宿舎・当直・研修手当について

- 研修医専用机や控室の有無等 : 研修医控室、専用机、ロッカーなど
- 学会、研究会への参加費用支給 : あり(支給あり)
- 指導法 : 各診療科でのman-to-man、AHA ACLSコース、研修医ガイド下のCVC(中心静脈カテーテル)

研修医の時間外労働
の想定上限時間数は
960時間／年を想定

下記の基本給に、当直などを加味した
“**研修医手当**”(一年次8万円、二年次
10万円)が別途支給されます。**医師の
働き方改革に対応して上記を超えた
時間外勤務手当も、一定の基準で
上乘せ**されます。

研修医当直

- 回数(月平均) : 4回
- 当直手当 : あり(当直時)
- 当直時の勤務体制
(研修医以外の当直医数) : 7人
- 当直時の勤務体制
(当直研修医数) : 3人
- 勤務体制 : 1年次と2年次のペアに指導

処遇

基本手当

一年次 : 300,000円/月 賞与なし(諸手当込み)(手当によって個人毎に差がありますので表示額の通りではありません)

二年次 : 310,000円/月 賞与なし(諸手当込み)(手当によって個人毎に差がありますので表示額の通りではありません)

※独身、当直月4回とした場合
の一年次の想定手取月額 : 約380,000円/月(一年次日額15,000円
二年次日額15,500円)

- 社会保険、労働保険

公的医療保険 : あり

(臨床研修病院ガイドブック WEB 2024 より引用)

※ 時間外勤務が100時間／月を超えると、面接指導を受ける必要があります。
勤務間インターバルが確保できない時、事後的に「代償休息」を付与します。

時間外手当と健康管理（HPの研修規定にアップ）

○時間外勤務手当：あり（令和6年度～）

【変更点】しかし、**令和6年度から医師の働き方改革が臨床研修医も含めたすべての医師に本格導入**されることになったため、**急患に関係した休日・時間外の呼び出しやそれに伴う検査・処置・治療、緊急手術等への参加、電子カルテ記載、診断書・診療情報提供書の作成、総合当直業務等は、一定の要件を満たせば、時間外業務として認定**され、時間帯と労働時間数に応じた手当が支給されるシステムに移行します（**令和6年4月より導入予定**）。また、引き続き「新・研修医手当」も支給されます（1年次；8万円/月、2年次；10万円/月）。

【留意点①】上記の時間外業務が適切に管理され手当が支給されるためには、各自の勤務記録が大切となります。**ICカードによる打刻（登録）が“勤務証明”となるため、出勤時・退勤時の打刻を忘れない**ように徹底してください。勤務時間外の活動内容については、**COMPANYという勤務管理ソフトを用いて集計しますので、毎日登録する**ようにこころがけてください。

【留意点②】タスクシフトやワークシェアリングを工夫したとしても、診療科ならびに季節によっては救急患者対応が多くなり、時間外業務が一定時間を超えることがあります。月の時間外勤務時間が80時間を超えそうな場合は各診療部長より注意喚起があります。**100時間/月を超えた場合は、面接指導実施医師（各診療部長や医師臨床研修プログラム責任者など）による面談**が行われ、勤務状況や睡眠時間・健康状態の聞き取り調査が行われます。また、さまざまな事情で、決められた**勤務間インターバルが確保できない場合は、事後的に（翌月末までに）「代償休息」が付与される**ことになっています。

好生館での研修に“向いている”皆さん

◆ 診療体制・研修の特色など ◆

- ・**選択期間が拡大**され、希望する診療科を選択しやすくなった（最大で12ヶ月、自由選択が可能）
- ・ほぼ全ての診療科を有しており、希望診療科で研修できる（肝胆膵外科、乳腺外科、小児外科、脳血管内科、腫瘍内科、緩和ケア科、感染制御部など **特色のある診療科での研修も選択可能**）
- ・佐賀県内で唯一の「**小児外科**」**標榜施設**である
- ・**緩和ケア病棟**を有している
- ・**プライマリ・ケア**を十分に習得できるよう、**屋根瓦方式による総合当直研修**が組み込まれている
- ・**救命救急センター**や**集中治療部**等で、重篤な患者に対する救急・集中治療管理が経験できる
- ・**外傷センター**や**脳卒中センター**を有し、リハビリを含めたシームレスなチーム医療が経験できる
- ・**ドクター・カー**や**ドクター・ヘリ**を稼働させており、病院前救急診療に注力している
- ・基幹災害拠点病院および2次被ばく医療機関に指定され、DMATを5チーム有している
- ・**教育熱心で臨床経験豊富な指導医陣**による指導が充実している

指導医および先輩研修医からの一言：以下のような人が、好生館での研修に向いています！

- ・まずは臨床でしょ、と思っている人
- ・卒後臨床研修は、忙しい方が自分のためになる、と思っている人
- ・たくさんの症例を経験したい、手技をたくさんしたい、と思っている人
- ・机上ではなく、実践で学びたい、と思っている人
- ・幅広く多くの診療科を回りたい、いろいろな分野を見たい、と思っている人
- ・診療に対して責任を持たされたい、と思っている人
- ・救急車で搬送される患者さんを積極的に診療したい(初期対応)
- ・遊びも大切だけど仕事も頑張りたい、と思っている人
- ・多くの研修医と語り合いたい、一生の友人となる仲間に出会えたらいい、と思っている人
- ・月に1回の研修医懇親会(飲み会?)に参加してみたい
- ・オンとオフをはっきりさせたい
- ・夜は酒を飲みたい・・・

好生館では研修医の横の繋がりが、同期の絆が強い！

研修医 無記名アンケート(R3年卒業) ⇒ 同僚について ①

- 同期は佐賀大学以外の出身も多く、同僚から学ぶことも多く、とても刺激になった。
- 自分が1年目の時には、2年目の先輩方から、日々の業務や処方など、基本的なことから手取り足取り教えていただき、本当に感謝しております。同期や後輩には、とてもやる気にあふれた人が多く、非常によい刺激となりました。また研修医だけの医局があることで、入院や救急外来で経験した珍しい症例に関していつも情報を共有でき勉強になりました。
- 研修医2年目17人いて、疲れて医局に行くとみんなが仕事をしていて、話していると元気をもらっていました。このメンバーで働けてほんとに良かったです。
- 相談すると実りのある優秀な方が多かったように思います。また、専門外だからと手を抜かずに外来をしている姿をみて刺激を受けました。医局でみんなと過ごした毎日は、私の宝物です。
- 同期にすごく恵まれていたと思います。各々違う診療科へ進みますが、今後も相談したり一緒に診療にあたることも多いと思うので、ここで築いた関係を今後も大切にしたいと思います！
- 大変学びに対して貪欲であり、心強い仲間という風を感じています。やはり、最初の環境というのは今後の基盤になっていくと思いますし、そういった点においても、一生記憶に残る研修環境と同僚という風に感じます。また同時に、最大限の謝辞を申し上げたく思います。
- やる気に満ちあふれた優秀な同期ばかりで、困ったときには相談し合える仲間に支えられて最高の研修でした。非常に感謝しています。今後もこの仲は大事にしたいと強く思います。

研修医 無記名アンケート(R4年卒業) ⇒ 同僚について ②

11. とともに研修し苦楽を共にした同僚についての感想

- ・ 同僚には感謝しかありません！ここまで好生館で研修できたのも、指導医の先生方はもちろんではありますが、同僚の存在は大きかったです。
- ・ 医局でわからないことは何でもすぐに気軽に聞ける状況が、とてもありがたかったです。皆で悩んで、考えて、笑い合った時間が心地よく、かけがえのない1年になりました。
- ・ 悩みを相談したり、されたり、一緒に頑張れる仲間が沢山見つけて心強かったです。
- ・ 研修医 医局で仕事の話や趣味の話等をする中で、救われていた面もあると感じています。ともに頑張っている様子が見えたので、ここまで自分もやってこれたのかなと思います。
- ・ 皆モチベーションも高く、真面目で良い同僚に恵まれた。医局の居心地は最高です！
- ・ コロナ禍のため、なかなか一緒に飲み会をすることが自由に出来ませんでした。医局の中はいつも明るい雰囲気、楽しかったです！1年目の時は先輩から教わり、2年目の時は後輩に教えることができました。私は、基幹型を選択して良かったと思いました。
- ・ 色々なキャラの人がいて、面白かった。人数が多く、過酷な当直などをともにするため、とても心強い仲間となった。好生館研修で形成された人脈は生涯の財産となると思う。
- ・ 好生館は研修医が多い方だと思いますが、マッチングを勝ち抜いた精鋭が集まるのでみんな積極的でやる気があり、優しく楽しい人ばかりでした。優秀でユーモアがあって、なにより思いやりのある同期には感謝しています。楽しく充実した研修生活を送れました。

研修医 無記名アンケート(R5年卒業) ⇒ 同僚について ③

11. とともに研修し苦楽を共にした同僚についての感想

- ・皆、とても勉強熱心で、学ぶところが多かった。それぞれの診療科に進んだ後も、仕事とともにできる機会があるといいと思えるほど、相談も仕事もしやすい同僚でした。
- ・同期はもちろん、先輩も後輩もいい人ばかりで、気持ちよく楽しく、働くことができた。研修医だけの医局なので、時には愚痴を言い合い時には楽しく話したりして、元気になり仕事に戻ることができた。素晴らしい同僚達と出会えたのは、好生館にきてよかった点の1つだと思う。意識が高い同僚が多く、鼓舞され、自分も頑張ろう！と思えた。
- ・自分はあまり人付き合いが得意ではないのですが、気にかけてもらい助かりました。特に2年目の先生と気さくに話すことができ色々なことを教えて頂いたのは、大きかったです。
- ・医局2で業務のことはもちろん、たわいない会話ができ心の支えとなっていたと思う。きついときに弱音を吐きあえて、心強かったです。先輩も同期も後輩もご縁に感謝です！
- ・一緒に研鑽を積むことができる同期が多く、また先輩後輩についても大変恵まれたと思います。みなさん社交的で、とても良い同僚でした。かけがえのない仲間を持ったと思います。佐賀大学出身が多かったが、その他の大学からでも仲良くしていただき良かったです。
- ・出身大学が様々であり、お互い関わりを持つ中で、価値観が広がった。とても良い同期達に恵まれたと思う。他の学年も大学に多様性があると、もっと楽しいかもしれませんね。
- ・同期には、非常に恵まれた！と感じています。4月当初から、大学の違う私も輪に入れてくれて、研修生活を緊張しながらも、楽しく始めることが出来ました。医局2では何でも相談できるので、困ったときや悩んでいるときには、何度も話を聞いてもらいました。
- ・好生館の特色として、研修医1人1人に電子カルテがあるため、医局に集まってきやすい環境にある。どんなにキツイときもため込まず、精神的な安定は得られやすいと感じた。